

# 「ひとが輝き、まちが輝き、 そして未来が輝く五城目」を目指し 町民の皆さまとともに協働のまちづくりを推進



町民の皆さま、明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、町政に対する絶大なるご支援とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。さて、昨年は五城目小学校新校舎での子どもたちの学校生活が始まるとともに、地域に開かれた学校を目指し、新校舎に併設した地域図書室「わーくる」がオープンしました。新たな学習環境の中で、地域の方々との世代を超えた交流が、将来を担う子どもたちのさらなる成長につながるものと期待しております。

また、新型コロナウイルスワクチン接種につきましては、対象者の9割以上が2回目接種を終えております。これもひとえに町民の皆さまのご理解とご協力によるものと、改めて感謝を申し上げますとともに、引き続き、3回目接種に向けた準備を進めてまいります。

迎えた令和4年は、今後10年間のまちづくりの指針となる新たな総合発展計画がスタートします。

本年度をもって計画期間の満了を迎える総合発展計画では、「人とまちが響きあう ころやすらぐ 悠紀の郷 五城目」を将来像としたまちづくりを推進してきました。現在、これまで実施した事業に対する評価と検証を行い、町民の皆さまからの貴重なご意見を基に、町民の皆さまの目線に立ったより良いまちづくりの計画となるよう進めているところであります。

新たな計画では、「ひとが輝き、まちが輝き、そして未来が輝く五城目」を将来像とし、これまでの取り組みを深化させるとともに、アフターコロナを見据え、新たな時代の流れに対応した施策を展開し、町民と行政が一体となって大きく輝けるまちづくりに努めてまいります。

コロナ禍により、誰もが経験したことのない厳しい社会経済情勢ではありますが、今後も郷土五城目町のさらなる発展のため、全力を傾注してまいりますので、今後とも皆さま方の二層のご指導（ご鞭撻）を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が、新型コロナウイルス感染症に打ち勝ち、町民の皆さまにとりまして、健康で笑顔に満ちた素晴らしい年となりますことを心より祈念申し上げます。年頭のあいさつと致します。



五城目町長 渡邊 考兵衛

写真：「日の出」—馬場目川大橋(大川)から見た森山と馬場目川—